

令和3年2月25日(木)

14:40～16:30

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 5名
学校職員 9名

○日程 13:00 受付 13:20:授業参観 14:30:評議員会(～16:30)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

学校評議員の皆様には御多用のところ御出席いただき、感謝申し上げます。今年度は感染症の影響により様々な行事を見直しながら実施せざるをえなかった。生徒たちは力を合わせてたくましくやってきた。その様子を新聞やテレビでも取り上げていただいた。今年度の学校評価の結果から教育活動の成果と課題を踏まえ、二高生の可能性を引き出しながら、さらに魅力のある学校にしていきたいと考えているので、御忌憚のない意見を伺いたい。

(3) 令和2年度学校概況説明

ア 重点目標について(校長)

3 目指す学校像

(1) 今年度の重点目標

- ・アの教員の授業力向上による生徒の学力向上は、4人ずつ9つのグループを作り授業を見せ合った。授業が分かると答えた生徒の割合が7割で目標を達成した。今後まもなく電子黒板が設置になり、ICT機器が充実する予定で、これらを活用しながら学習意欲の向上を目指す。
- ・イのキャリア教育の充実による進路希望の実現に向けて、卒業生や大学の先生などを講師として招き講演会を実施した。そのこともあり進路実現に向けた適切な指導を行っていると感じた生徒が目標の8割に達した。
- ・ウの部活動等の充実による主体性の育成は、体育祭や文化祭の二大行事は他会場を借りて実施し、生徒の充実感もあったし、学校全体の一体感も高まった。
- ・エのいじめの防止についても、4回のアンケートを実施し、何か出てくると学年集会を実施し、早期の対応をはかった。
- ・オの開かれた学校づくりについては、ホームページや、三者面談の実施を図った。地域との連携を深めるためのコミュニティスクールへの移行を令和4年度から本格的に県全体で進める動きがあり、そのための準備を進めることが今後の課題である。

イ 各課取組状況について

【総務課】(総務課主任)

「庶務・行事などの諸活動を円滑に運営する」について

- ・学校へ行こう週間は159名の参加。中3生が増えた。町内会は0。

「PTA(白梅振興会)活動の活性化」について

- ・コロナ禍で思うような行事開催ができない中、各委員会等を中心に、積極的に活動を行った。PTA会報は県コンクールで2年連続優秀賞受賞。

【教務課】（教務課主任）

「生徒の学力向上」について

- ・家庭学習時間の微増。テレビ視聴時間は減少したが、スマートフォンの利用時間が増加。
- ・ 考査期間に下位者指導を実施。
- ・ 受験や模試に対応できる実力の養成については依然課題が残る。

【生徒指導課】（生徒指導主任）

「生徒規律の確立」について

- ・ 基本的な生活習慣、整容、問題行動。現在のところ特に大きな問題は起こっていない。
- ・ いじめアンケートの中で、SNSの書き込みを見た、されたというものがあつた。

「生徒会活動」について

- ・ 体育祭や二高祭は外部会場で実施した。次年度も外部会場で実施予定。

「安全指導」について

- ・ 自転車事故の微増。

【進路指導】（進路指導主任）

- ・ 総合型・学校推薦型選抜指導の充実は、全職員による個別指導。
 - ・ 四年制大 81名合格（国公立大 21名）、短大 14名、医療専門 25名、専門 32名、就職 4名、合計 156名決定。今年度は、国際教養大学に一般で 1名合格することができた。
 - ・ 共通テスト全員受験や全員課外の見直し。
 - ・ どういった生徒が二高へ入学を希望しているのか。
- 評議員 部活動や、大学進学し、専門職を志している生徒。女子校に向いている生徒などが希望するケースが多いと感じる。

【保健厚生課】（保健厚生課長）

- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策の実施。
 - ・ 冬期間にヒーターを 1 台配置。
 - ・ 加湿器の新規購入。
 - ・ ラウンジにパーテーション設置。
 - ・ 冷水機の水質検査の実施。
 - ・ 下足トレイの購入。
 - ・ 特別教室カーテンのクリーニング。
 - ・ 健康教室実施のため、2 分割 2 回講演実施。
 - ・ 消毒作業員の委託
 - ・ 生徒は検温し、スマートフォンで入力、それを養護教諭が管理。
 - ・ 来校者の検温チェックシート提出。
 - ・ コロナ対策で有効なアイデア等あれば伺いたい。
- 評議員 中学校では体温測定器を設置。来校者が自分で体温を測定するので、手間が省けた。
- 評議員 コロナ対策の教室などはやっていないのか。共通認識できるような資料や教室で学習すれば良いのではと考えるが。

ウ 学校評価結果について（副校長）

今年度から、各自スマートフォンを利用して回答を実施。肯定的評価は例年とほぼ同じような傾向を示した。生徒会活動、部活動の活発さが例年高評価である一方、学習に関わる項目が低めの評価となっていることが本校の課題である。応用力が身につく授業の実践については最も評価が低く、基礎が身につけていないため基礎を徹底させたいと考えている職員側と、授業を頑張っているのに模試等で点数が採れないで、どうも上手くいかないという不満のある生徒の意識の差があるのかもしれない。生徒が自ら学習しようとする意識づけが出来るよう、今後さらに工夫する必要があるというふうに考えているが、難しい状況である。家庭学習、学習習慣を確立させて学力の向上を計るためには今までの対策の確認、検証、それから個別指導等を含めたさらなる対策が必要になると考えている。

(4) 懇談

- 進行 今までのところでざっくばらんに思ったことをお話しいただきたい。
- 評議員 学校へ行こう週間で中学生が増えたのに、受験生が定員に満たなかったというのは何故か。
- 校長 今年の盛岡市内の中学生が200人位減っているのです、それなりに減るとは思っていた。
- 評議員 子どもが少なくなっているのもそうなのだが、私立単願の生徒が増えてきている。私立高校だと早く決まって楽が出来るとか、特色ある私立に行きたいという生徒が多い。私立の単願だと授業料も減額になるのでそちらを選んでしまう。
- 評議員 教育相談に質問。1年生で不登校が増加傾向とあるが、なぜか。
- 保健厚生課 コロナ禍でエンカウンターの実施も出来ず、昼食も前を向いて取らせており、コミュニケーションを取る機会が少なかったのが原因と思われる。
- 教務課 理由がない生徒が1年生では数名見られる。
- 進行 二高に何を望むか。
- 評議員 県内唯一の公立女子校なので、その特色をいかしていく方法を模索していくのが良いのでは。
- 評議員 活躍している姿を見ているので、今の姿に学力がついていけば良い。
- 評議員 女性らしさだけでは戦えないのではないかと、たくましさ、強さ、負けない人間がこの時代求められているのではないかと。
- 評議員 自分がここで何をして何を学ぶのか。女子校の在り方も含めて考えていく時期では。
- 評議員 なぜ学ぶのか、学ぶとこういいういことがあると生徒に語りかけて欲しい。言葉がスイッチを入れる。先生方の言葉は意外と生徒は聞いていて、そういうことのために学校に来ている。
- 評議員 盛岡二高を選んで入学してきたのだから、女子校というところに入っただけでもきちんと決意して入学してきているはず。だからこそ3年間を一生の宝物に出来る生活がこの学校では出来ると思う。時代が変わっていく中で、模索しながら先生も生徒もあきらめない姿勢でやっていただきたい。

(5) 閉会の言葉（副校長）